

A grayscale background image showing three students in a laboratory setting. Two students in the foreground are focused on a task, with one holding a long, thin object. A third student is visible in the background. Various lab equipment, including a microscope and a beaker, are scattered on the table.

1/18

# FINAL PROJECT PRESENTATION

GROUP 2

KEIDAI, SEI, GO, REI

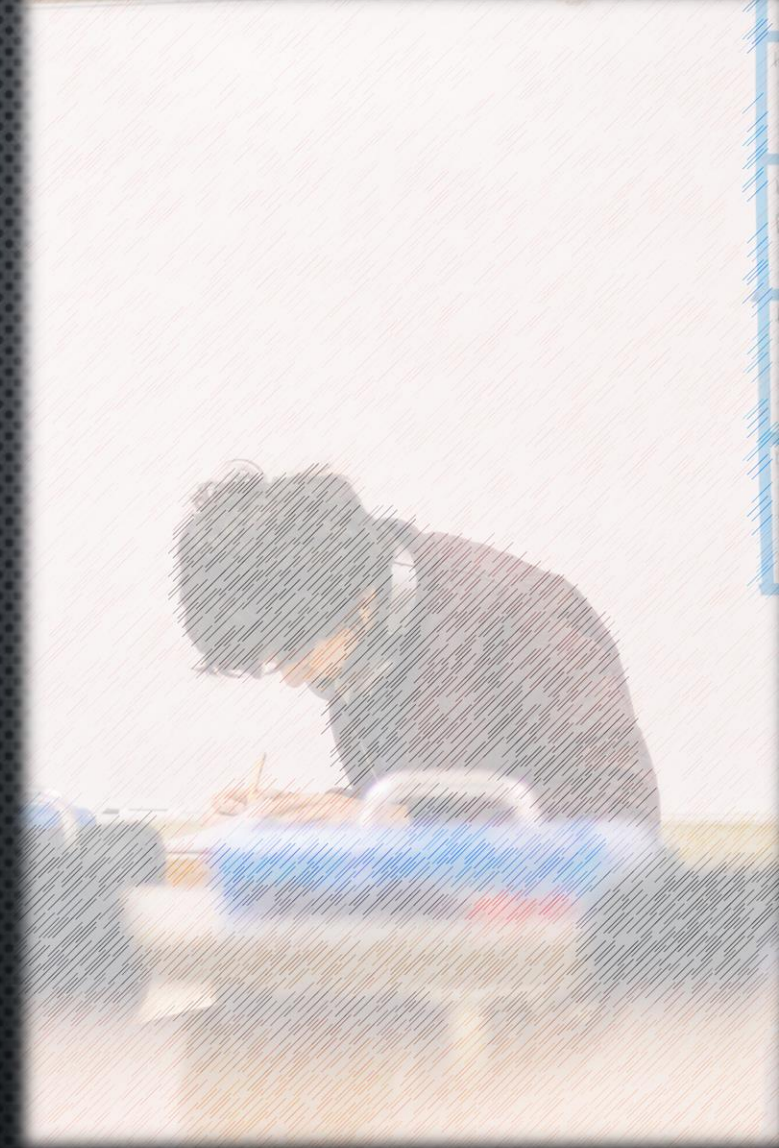
# OUTLINE

- 1. About our project
- 2. Motive
- 3. The process of making the manual
- 4. The content of the manual
- 5. Feedback
- 6. Thoughts



# 1. ABOUT OUR PROJECT

- Highlights microaggression in school
- Tell teachers how to avoid it through real cases



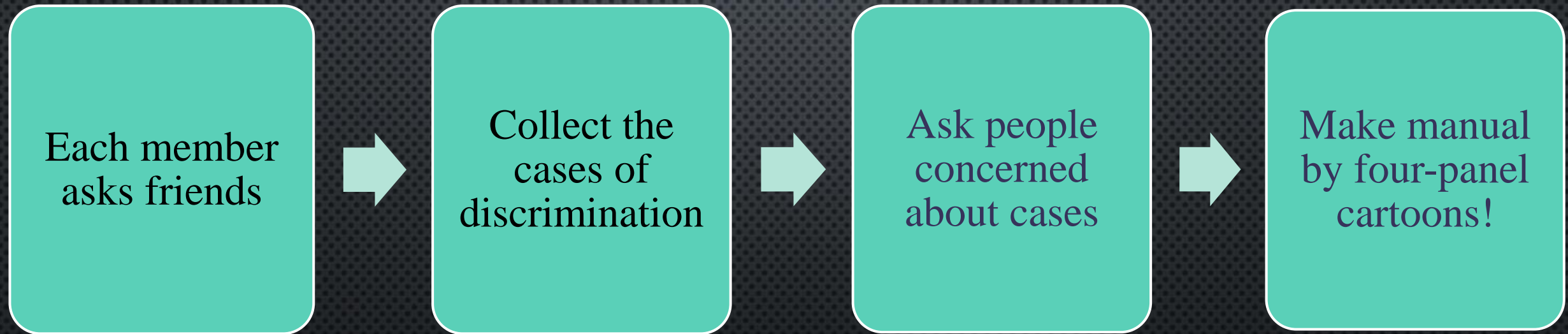
## 2.MOTIVE

- We learned diversity in this class.
- Many students experience discrimination even if it is unconscious or small.



We want teachers to learn the fact and think about discrimination through the manual.

### 3. THE PROCESS OF MAKING THE MANUAL

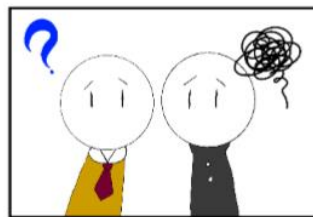
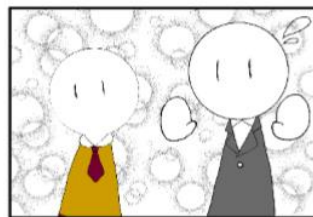
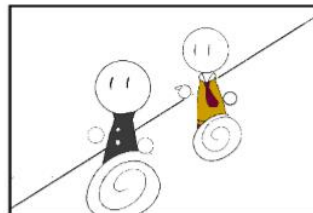


## 4. THE CONTENTS OF THE MANUAL

- Case1. In the hallway
- Case2. Course selection
- Case3. Fear for school
- Case4. Benightedness
- Case5. Can you speak Japanese?
- Case6. Which do you like more?

## ケース 1

### 廊下にて



### 漫画に描かれたケース

男子生徒と女子生徒が学校の廊下を走っています。すると、先生がそれに気が付き、男子生徒のことは厳しく叱りましたが、女子生徒には優しく注意するだけでした。男子生徒は自分だけが叱られ、いやな気持ちになりました。以下、男子生徒の意見です。

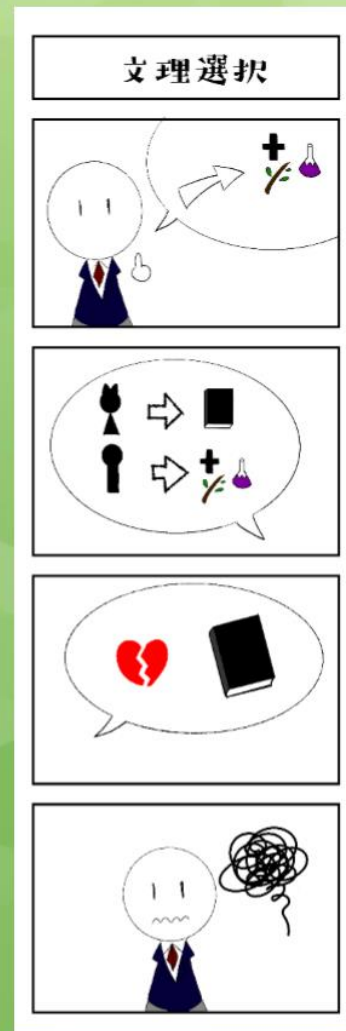
### どうして生徒はいやな気持ちになったのか

男子生徒はどうして自分だけが怒られたのか納得いきません。男子生徒は、先生が女子生徒には優しく接して、男子生徒には厳しく接していると感じたので、不公平だと思いました。

### 先生はどのように対処すべきだったのか

もちろん、学校の廊下を走ることは良いことではありませんし、先生がそれを注意することは当然です。しかし、注意するときに男女を区別することは良くありません。無意識に男女を区別して指導してしまうことはあると思いますが、男女両方に公平に接してあげることが大切です。

## ケース 2



### 漫画に描かれたケース

多くの高校で実施される文理選択の際に、男性は理数系、女性は文系という考えの存在や、それに基づく教員配置、声掛けなどにより、女性が理数系を、男性が文系を選択しづらくなるケースを想定しています。以下、女子生徒の意見です。

### どうして生徒はいやな気持ちになったのか

本人の特性ではなく、性差によって、将来に大きく影響する選択の幅が狭められたためと考えられます。

### 教員・周囲はどのように対処すべきだったのか

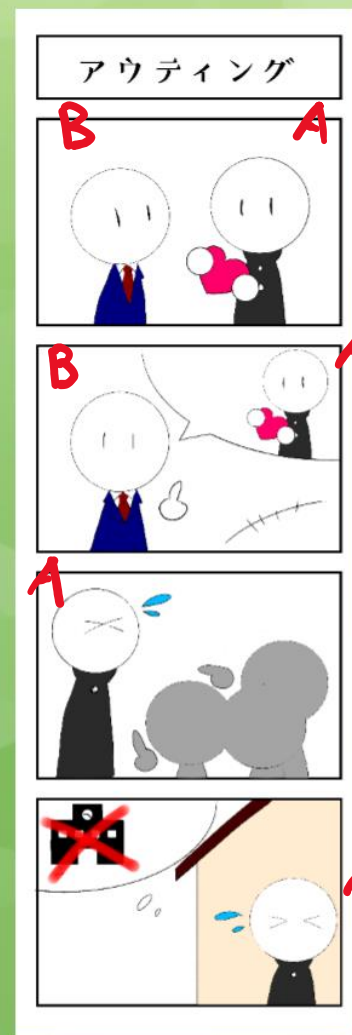
個人の資質に依存する選択について発言する際、性差を関連付けるような発言を控えることが挙げられます。

また、教員採用時に男女の均質性に留意することも考えられます。

### \* 隠れたカリキュラム

「教育する側が意図する・しないに関わらず、学校生活を営む中で、児童生徒自らが学び取っていく全ての事柄」と説明されます。ジェンダー観についても、教師が授業中に男女どちらを指名する傾向にあるかなどを通じ、こういった隠れたカリキュラムが作用しているという指摘が存在します。(石倉、1998)

### ケース 3



#### 漫画に描かれたケース

ゲイの生徒 A が男子生徒 B に、好意を持っていることを告白します。その告白を受けた B が、A からの告白について他の生徒たちに言いふらしてしまいます。A は生徒たちからかわれるようになり、学校に来られなくなってしまいました。以下、専門家の方の意見です。

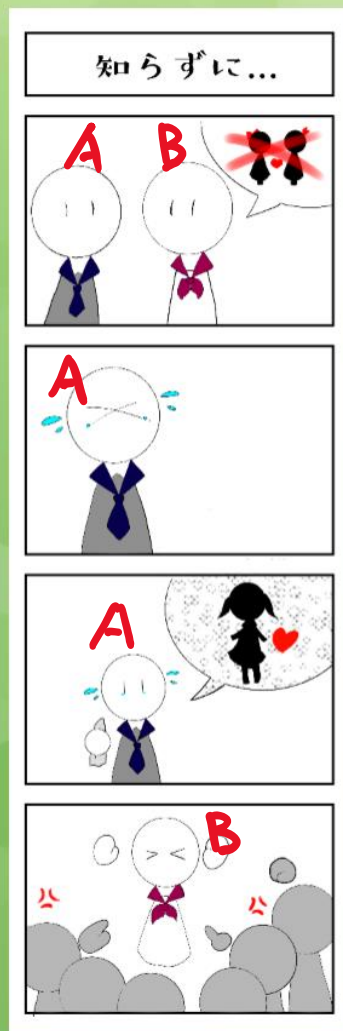
#### どうして生徒はいやな気持ちになったのか

本来自己の判断・権利においてのみ伝える相手・内容を決めるべき性指向のカムアウトが本人の知らないところで他者から他者に行われ（アウティング）、その上周囲にからかわれるようになったからだと思います。

#### 周囲はどのように対処すべきだったのか

告白された生徒 B は、性指向というデリケートな内容を含むことを他人に言いふらすことは絶対にしてはならず、告白を受けて相談したい場合は、信頼できる大人や養護教諭、スクールカウンセラーなど専門知識を持つ人にするのが望ましいでしょう。周囲の生徒も、その行為が告白した生徒 A にダメージを与えることを理解し、生徒 B に対しアウティングについて指摘するのが理想です。教員についても、出所を突き止め、生徒 B にはアウティングに対して注意し、告白した生徒 A にサポートを提供すべきでしょう。また、LGBTQ+に関する授業をして生徒たちの認知を高めたり、LGBTQ+のサークル・サポートグループなど同じ悩みを持つ人が集まる安心できる場所を作って心理的安全性を担保したりするのも大切です。

## ケース 4



### 漫画に描かれたケース

中学校で、ある生徒が会話の流れで女性同士の恋愛を否定するような内容の発言をしたところ、会話相手の女子生徒が泣き出していました。話を聞いたところ、その生徒がレズビアンであることがわかりました。女性同士の恋愛に否定的な発言をした生徒は他のクラスメイトに激しく批判されました。以下、専門家の方の意見です。

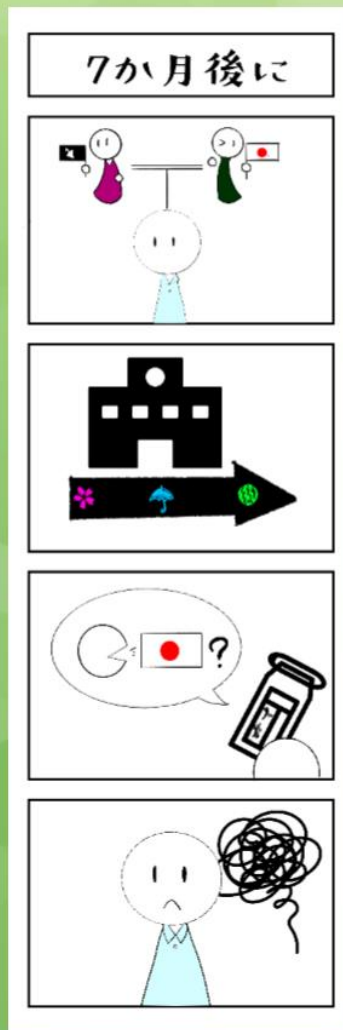
### どうして生徒はいやな気持ちになったのか

会話相手の性指向を知らないとしても、一般論として「同性愛は気持ち悪い」「同性愛はおかしい」といった差別的・否定的な発言をすることや、相手を異性愛者と決めつけて「彼氏／彼女はいるの？」などと発言することは無意識のうちに行われてしまう差別です。こうした無自覚の差別に晒されることが積み重なると、当事者は疲弊し、コミュニケーションへの意欲が減退してしまいます。

### 周囲はどのように対処すべきか

多様性への配慮に欠ける発言は常に誰かを傷つける可能性があるということを認識する必要があります。また、否定的な発言をした生徒を必要以上に批判することも新たな反発を招く可能性があり、避けるべきです。先生も必要以上に非難せず、アウティングにならないように配慮しつつ、傷ついた生徒のサポートを行うことが大切です。何が間違っていたか、今後どうすればよいかを指導してあげることが良いと思います。

## ケース 5



### 漫画に描かれたケース

ある女子高生はハーフであり、その名前は普通の日本人と少し違います。女子高生は公立の高校に通い、通い始めて7か月後に、突然先生から「あなたは日本語を話せるか」「あなたの家族は日本語を話せるか」と聞かれ、女子高生はすごく傷つきました。以下、海外にルーツを持つ方の意見です。

### どうして生徒はいやな気持ちになったのか

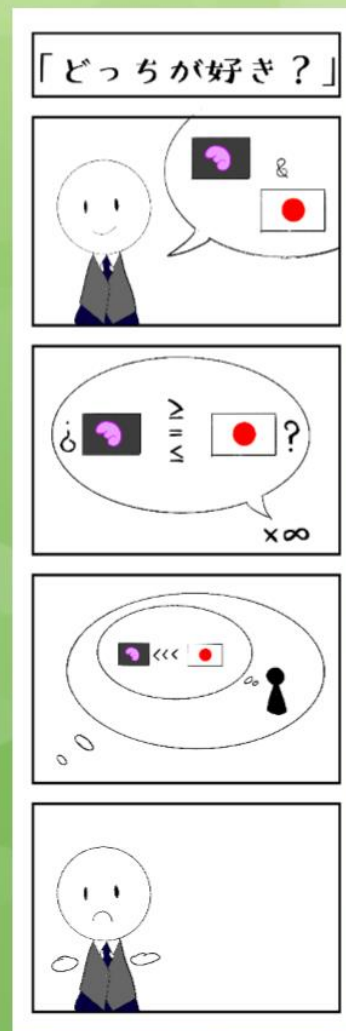
ベトナムと日本のハーフの意見：名前でいきなり「日本語話せるか」と聞くことは失礼だと思います。確かに普通ではない名前だが、偏見でいきなり聞くのはよくありません。聞かれる側はもしずっと日本に住んでいた人であれば、「できるし」とあまりよくない機嫌で答えると思います。

生まれてから日本に住んでいる朝鮮人の意見：先生は意識的な面として、日本で生まれ育った外国人がいるということについての認識はもってほしいと思います。いきなりこの発言をしてしまうと、それは潜在的な差別になると思います。

### 周囲はどのように対処すべきだったのか

先生とベトナムと日本のハーフの意見：まず日本語で話しかけてみるのが大切です。話しかけた結果、もし日本語がうまく話せない時は、またこの質問をするとよいと思います。

## ケース 6



### 漫画に描かれたケース

ある日本人学生が、日本と他の国とのハーフの学生に、「日本とその国どちらが好きか」と聞きました。日本人学生はその生徒に日本という答えを期待していましたが、その生徒はどちらの国を答えるべきか戸惑いました。以下、海外にルーツを持つ方の意見です。

### どうして生徒はいやな気持ちになったのか

ベトナムと日本のハーフの意見：どちらを選ぶという質問ですが、実質選択肢は一つしかない感じがします。質問する人は気軽に聞いているかもしれないが、実質ハーフに無理矢理答えさせている場合があります。

生まれてから日本に住んでいる朝鮮人の意見：二つのルーツがある人に対してどちらかを「無理矢理」選ばせるということに問題があります。質問に対して空気を読んで答えさせるような雰囲気があることもとても居心地が悪いような感じがします。

### 周囲はどのように対処すべきだったのか

ベトナムと日本のハーフの意見：このような質問を聞く動機は様々なので、まずその動機を集めることが大事です。集められた動機を分析することで、このような質問はなぜ悪いのかを学生たちに説明できます。動機自体は悪くないかもしれないが、このような質問はハーフに傷つく可能性があるということを先生が教育機関で教えたほうがいいでしょう。

## 5. Feedback

### 1. Keidai's friend (man)

“I have felt that teachers change ways of teaching depending on whether students are male or female, but I haven't thought about discrimination against LGBTQ+. So, I think I need to be careful about it. Teachers need to understand unconscious discrimination.”

## 5. Feedback

2. Sei's friend (man who is mixed with Vietnam and Japan)

“With the increase in the number of Japanese people with the thinking of multi-ethnic societies and gender-free, I feel that the way of thinking about issues related to discrimination is steadily changing.”

“I consider that from now on, educational institutions need to address various discrimination issues and make children aware of them.

## 5. Feedback

### 3. A former college teacher(man)

“Not only the government and teachers but also the students had better work on thinking the solutions about discrimination occurring in education.”

“I think there are few teachers who say rude things on purpose. Many Japanese teachers don't know about the LGBTQ+ or the mixed very much because when the teachers were young, these thoughts didn't widespread. If students teach teachers themselves, the teachers will also learn. In this sense, making this kind of manual is very good.”

## 5. Feedback

- 4. A junior high school teacher (man)
- "It is a good manual with experts' opinions and concrete suggestion including useful solutions, and gives an oppertunity for teachers to think about discrimination".

## 6. Thoughts

- It is important to acknowledge, understand, respect, and care (Go)
- By gathering examples, I got other perspectives that I didn't have. It was the experience that broaden my horizon. (Rei)
- I learned that there are a lot of unconscious bias in school. (Keidai)
- I hope that teacher and students can have a better understanding about “half ” after reading the manual. (Sei)

**THANK YOU  
FOR  
LISTENING!**

**KEEP  
HAPPY  
AND  
ENJOY YOUR  
SCHOOL LIFE**